

# 東海大学機友会々報

東海大学機友会事務局  
 代々木校舎 動機事務室  
 〒151 東京都渋谷区富ヶ谷 2-28-4  
 ☎ 03(467)2211(内)381  
 湘南校舎 動機事務室  
 〒259-12 神奈川県平塚市北金目1117  
 ☎ 0463(58)1211(内)3466  
 印刷 信友印刷株式会社  
 ☎ 03(444)2481(代)

## 代議員会報告

### 第二回総会の開催決まる

—三月三十一日に代々木校舎で—

第二回代議員会は昭和五十八年六月二十五日午後三時より代々木校舎において開かれた。

出席者が委任状を含めて四五名に達していることが総務より報告された後、議事に入った。まず小林隆会長より、本会成立より当日までの活動経過の報告ならびに事業内容の拡充等、今後の方針につき説明があり討論の後、了承された。また財務担当の山本秀隆幹事より会計報告があった。

次に第二回総会について話し合われ、本年三月に開催することが議題と共に決議されて無事終了した(議事録は二面に掲載)。

なお、開催の日取りと場所については総務に一任されていたが、三月三十一日東海大学代々木校舎で行うことになった(一時間等の詳細は案内状に記す予定)。



第2回代議員会風景

## 記念行事に卒業研究講演会

総会当日には記念行事として、昭和五十八年度の卒業研究内容の講演が学部四年生、大学院生によって行われる。従来この種の催しは学部の事業として、諸先生方による先端技術に関する講演が公開講座の形で行われたが、今回は学内における最近の研究成果の一部が現役の学生諸君によって発表される訳で、同窓会にふさわしい企画として期待される。とくに最近では機械系各学科における研究が活発になってきているが、発表は三件程度を予定している。

## 懇親会へどうぞ

総会当日の夕方から懇親会が行われます。クラスや卒研の仲間、先輩後輩と久しぶりに顔を合わせ、親睦を深めて下さい。

## 幹事会報告

### 機友会賞・就職相談窓口の設置等決まる

第二回および第三回の幹事会が、五十八年三月と六月にそれぞれ二面に掲載の議事録の通り行われ、新たに機友会賞の設定、就職相談窓口の設置、支部の結成等の事業を推進することになった。

機友会賞は新卒生を対象として、本会独自の基準により、すぐれた人物を表彰するもので、毎年四年生から数名、各研究室の先生方の推薦を受けて幹事会で選考を行う。これは勿論、優れた人格と能力をもった新卒生個人を正当に評価することを

## 浅沼先生 レイノルズ賞受賞

第三回国際流れの可視化シンポジウムが昭和五十八年九月六日から九日までアメリカのミシガン大学で開催された。シンポジウム二日目に第一回オズボーン、レイノルズ賞の授与式が行われ、動力機械工学科および第二工機工学科主任教授、浅沼強先生が世界初の受賞者として表彰された。

この賞は同シンポジウムが流れの可視化に多大の貢献をした者に授与するもので、浅沼先生の表彰は

- (1) 流れの可視化技術における顕著な研究成果
- (2) 流れの可視化シンポジウムの創設(昭和四八年)



### The Third International Symposium on Flow Visualization

Presents THE OSBORNE REYNOLDS AWARD IN FLOW VISUALIZATION

To Professor-Doctor Tsuyoshi Asanuma

In testimony of the high regard of your associates and the deep appreciation for your valued services in advancing the field of flow visualization.

September 7, 1983

Chairman Ann Arbor, Michigan, U.S.A.



表彰状および記念の楯を受ける浅沼先生

## 昭和五十八年度 卒研発表会・謝恩会開かる

五十八年度の動力機械工学科卒業研究発表会は、二月十四日午前十時より午後三時半まで、湘南校舎で行われた。その後夕方六時より厚木の小杉会館で、卒



謝恩会で歌う卒研生

- (3) 第一回国際流れの可視化シンポジウム(昭和五十二年開催)の組織委員長
- (4) 流れの可視化学会の創設および初代会長
- (5) 流れの可視化ハンドブック(朝倉書店)の編集
- (6) 理工学分野の研究における重要な手段として流れの可視化技術を推進した努力と指導力

が国際的に高く評価されたことによるものです。ここに卒業生一同、浅沼先生に心からお祝い申し上げます。

## 会員名簿作成進む

会員名簿の作成準備が着々と進んでおります。B5判横書きで、表紙装丁は写真のようになります。表紙を開くと、懐かしい湘南校舎、代々木校舎、実習工場、実験室風景など、カラー及び白黒のグラビア写真(8ページ)が巻頭を飾ります。続いて目次、機友会々則、機械科年表の後に、特別会員名簿(現在及び旧教職員住所録)次に、卒業年度順に会員の勤務先及び自宅の住所録がはいります。

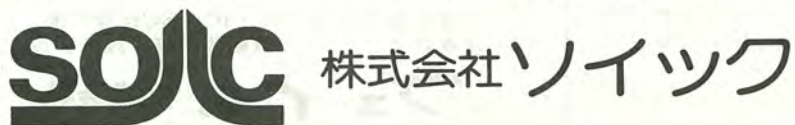
また、巻末に広告を載せますので掲載御希望の方は、事務局へ御申し込み下さい。B5判全紙の大きさは五万円、判で三万円、判で二万円です。尚、昨年は名簿用原稿カード(葉書)の記入と返信に御協力頂きありがとうございました。まだ投函されていない方は出来るだけ早く御送り下さい。また前報でも御願いましたが、全く連絡がとれず不明の会員がいます。友人などで住所変更後の消息を御存知の方がいらっしゃらば、事務局まで御知らせ下さい。

## 後藤年治一級技術員逝去

生産機械工学科の後藤年治一級技術員は、昭和五十八年五月十二日、胃癌のため、東海大学付属病院で逝去されました。享年四十七歳。謹んでお悔み申し上げます。

後藤技術員は昭和四十年十月に本学職員となられ、主に機械工学実験・実習の鑄造作業、仕上げ作業および工作測定などの実習指導をされた。五十二年三月に東海大学第二工学部機械工学科を卒業され機友会の会員でもあった。

あらゆるニーズにお応えする鋭角の頭脳集団!! (人材募集中)



〒150 東京都渋谷区東3丁目15番5号(AYビル)  
 ☎ (03) 409-7232(代) 代表取締役 大原順夫 (昭和43年度卒)

- 情報機器システムの調査研究及び開発受注
- アプリケーションソフトの開発及び運用
- オンラインリアルタイム アプリケーションシステムの設計受託
- 制御システム(電力・計測・データ通信等)の開発
- 各種ミニコン使用システムの開発

### 【研究室紹介】

## 主任研究室・事務室

本学科の事務室を紹介いたします。皆さん御存知のように、大学では教務課、学務課、就職課など数多くの事務部門があります。これらの課は大学全体の業務機構です。これらに対して本学科内の学生諸君や教員間のいろいろな伝達や案内処理は、本学科自体の事務室が行っています。

現在、動力機械工学科は在学一年生から三年生までは湘南校舎で、四年生は代々木校舎でなっています。また、第二工学科機械工学科は在学学生と大学院生は代々木校舎です。このようにそれぞれの在籍校舎が異なるため、学科の事務室は代々木校舎と湘南校舎にそれぞれあり、代々木校舎は主任研究室を兼ねています。そしてこれら二つの事務室は主任教授が統括しており、副主任および教務担当教員が補佐しております。両事務室にはそれぞれ二人の事務担当者があります。

代々木事務室には、平井弘三氏(39年度機械科卒)と岡田恵子さんが居り、湘南事務室には伊藤昌夫氏(40年度二工機械科卒)と小泉靖子さんが居ります。事務室の仕事は非常に多岐にわたっています。まず、在学生にとつて卒業後の就職という問題は重大関心事だと思いが、勿論学科としても就職には力を注いでおり、その就職相談も事務室で行っています。学生本人が希望する適切な企業に入れるよう指導しているわけです。就職を希望している四年生の学生内卒業研究は、主に湘南事務室で学外卒業研究は代々木事務室といった様に、必ず御世話になるわけです。

平井、伊藤両氏は、就職担当教員との打合せの他、学生一人一人との就職面談や企業のアドバイスをしてくれまします。このためには、求人資料の調査や整理、大学就職課との連絡などしなければならず、一年中多忙な業務です。また、小泉さん、岡田さんはそれぞれの事務室で一生懸命活躍しております。

本学科は、ここ数年、就職先、就職率ともかなり良い結果が出ており、この傾向は年々向上してきています。これは先生方ももとより、本学科事務室で担当、指導される方々の功労も非常に大です。

就職関係の他にもいろいろな業務に携わっております。学科における教務、学務の仕事は就職業務と同じ様に大切です。年間の授業スケジュールや推薦入試(今年で第五期の学生が入学しています)の準備、そして各学年の成績結果の総合的調査や統計資料ファイルなどを行います。さらに、主任教授の指導の下に各学年別、またクラス別、コース別にでくると学力成績結果をまとめたり、過去のデータとの比較・推移などを細かく分析したりして、資料を作成し、得られた資料は先生方の授業や教育の際の貴重な参考となります。因に動力機械工学科は新入生が二百名程度です。その内分は付属高校、一般推薦入試として一般入試であります。昭和五九年度の一般入試では、その志願者が工学部十六学科の中で最も多くなっています。この様に年々受験者数も増えてきており、それだけに、入学後の学生の学力や成績動向に大きな関心ももたれています。

その他、学科には、いろいろな行事があります。事務室ではその行事が円滑に遂行するように準備を行います。例えば、永年教鞭をとられた先生方の退職記念講演会や学科創立祝賀記念会などがあります。これは、学科内教職員だけでなく、機友会のみならずにも関心のある事だと思えます。昨年三月には、後藤武一教授(材料力学)、今末には、橋本順一郎教授(材料力学)、大田喜八郎教授(流体力学・応用数学)が定年となりまします。みなさんもしっかりと御指導を受けられたと思えます。退職されても愛校心の強い、教育熱心な先生方ですから、卒業生の方々が連絡をとられる様な時、事務室に御尋ねになれば、きっと快く消息や近況を知らせてくれます。



平井氏



左から小泉さん・岡田さん・伊藤氏



機友会の事務局も学科事務室内に設置されています。この様に学科事務室は、母校と機友会の接点となる場所でもあります。幹事諸氏は勿論のこと機友会々員の皆様も気軽に立ち寄られることを希望します。(41年度卒 康井義明)

### 学内通信

## 工学部新館の建設はじまる

湘南校舎の三、四、七棟のあとに、機械工学科系学科を中心とした工学部新館(地下一階、地上十一階、一部五階)の建設がいよいよ今年の四月から開始される。

この新館には、研究室、実験室のほかに、工学部長室、工学部共通の製図室、電子計算機室および工学関係の図書館なども設けられることになっており、いわば工学部本館ともいえるべき建物になる。

動力機械工学科は、六階に教員の研究室および事務室などが、一階と地下一階に実験室が予定されている。こうしたプランに沿って、これから工事は急ピッチに進められ、全館が完成するのは昭和六十一年夏の予定である。

が、一年半後の来年度夏ごろには十一階の研究棟がまず完成の予定である。

これを機会に、代々木校舎にあった動力機械工学科もすべて湘南校舎に移り、一年生から四年生まで、すべての学生が湘南校舎で授業を受けることになる。したがって、代々木校舎は第二工学部機械工学科(夜間)だけが存在することになる。

これまで動力機械工学科では、各研究室・実験室が三、五、六、七棟、C棟、一号館および代々木校舎とばらばらに配置されていたが、新館建設にともない、これらが統合されて、本学科の活動を更に広げる場になるものと期待されている。



工学部新館の完成予想図

また現在では、会員名簿の作成準備と全員の消息調査をはじめ、会報第二報および第三報の発行準備、技術相談窓口の設置、本会活動に貢献した新卒者に対する表彰制度の設置など、活発な活動を行っており、着々と発展しつつある。

一方、このような活動を行うには何分財源が必要であり、本年六月には全会員に会費の納入を呼びかけ、また卒業式の当日には新卒者に仮名簿や会報を配布して宣伝を行ってきた。今後役員はじめ会員諸君の御協力を御願ひしたい。

(2) 会計報告  
山本幹事より昭和五八年度から現在までの収入と活動費に関する会計報告が行われた。議題は次の様に提案された。

一、第一期活動報告  
二、会計報告  
三、新役員への選出  
四、第二期活動方針  
尚、総会終了後、記念講演会および懇親会を行うことになった。これらの日時、会場等については幹事会に一任されることになった。

議事二、総会開催の件  
発会式時の総会に続いて、第二回総会を昭和五九年三月初旬に開催することになった。議題は次の様に提案された。

一、第一期活動報告  
二、第二期活動方針  
三、新役員への選出  
四、第二期活動方針  
尚、総会終了後、記念講演会および懇親会を行うことになった。これらの日時、会場等については幹事会に一任されることになった。

議事三、第二次代議員会および総会開催の件  
第二次代議員会を昭和五八年六月二十五日(土)午後三時より東海大学代々木校舎に於いて開催することになった。議題として次の様なことが取り上げられた。

一、昭和五八年度および五七年度経過報告  
二、会員住所の明確化と組織の拡充について  
三、総会開催の準備について  
また、第二回総会は昭和五九年三月に開催することを提案することになった。

### 第一回代議員会議事録

開催日時 昭和五八年六月二十五日(土)午後三時  
会場 東海大学代々木校舎

議事一、現在までの経過報告  
(1) 経過報告  
小林会長より次の様な要旨の

報告があった。  
昭和五八年十一月十五日の本同窓会発足以来、各役員組織の確立にはじまり、数回にわたる幹事会の開催、会報の発行と全会員への郵送、就職相談窓口の設置およびその一環として現役四年生を対象としたOB懇談会の開催などの活動を行ってきた。

議事二、第二次代議員会および総会開催の件  
第二次代議員会を昭和五八年六月二十五日(土)午後三時より東海大学代々木校舎に於いて開催することになった。議題として次の様なことが取り上げられた。

一、昭和五八年度および五七年度経過報告  
二、会員住所の明確化と組織の拡充について  
三、総会開催の準備について  
また、第二回総会は昭和五九年三月に開催することを提案することになった。

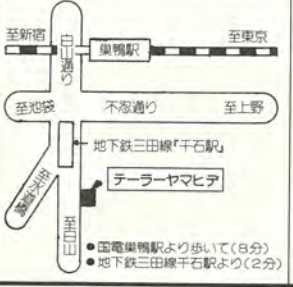
議事四、昭和五八年度事業の件  
昭和五八年度の事業として会報発行、名簿作成に加え、次の三つを行うことになった。

一、本会活動に貢献した新卒者に対する表彰制度の設置  
二、会員に対する就職相談窓口の設置  
三、技術相談窓口の設置

議事五、新幹事の任命  
業務の遂行を更に強化するため、常任幹事の中に新たに広報担当を置くことになり、担当者

を呼びかけ、更に、各年代およびクラスの代議員に本会の宣伝と勧誘を依頼することになった。議事二、会員名簿作成の件  
事業の一つとして会員名簿を作成すべく現在準備中であるが住所不明者が多い、作成資金が高い等の問題があるとの報告がなされた。これに対し、次の様な対策を立てることになった。

① 各年度の卒業生に対する住所の調査を代議員に依頼する。  
② 今後のために、名簿の最終ページに住所変更届の葉書をはさみ込む。  
③ 名簿は三、四年に一回作成するものとし、確実に掲げる部数だけ印刷する。  
④ 広告を出るだけ多く集め作成資金に当てる。  
⑤ 要望に応じて、地方別に配列した別刷の名簿作成についても今後検討する。



**山秀洋服店**  
☎(03)944-3540  
文京区本駒込2-8-3-104 113  
《紳士注文服》  
《イージーオーダー》  
●クレジット1回~20回OK  
お気軽に電話又はご来店下さい。  
《山本秀隆》(39年度卒)

■企画 ■写植  
■編集 ■製版  
■デザイン制作 ■印刷

108 東京都港区白金1-7-20  
**信友印刷株式会社**  
☎(03)444-2481(代)

機械・電気 設計者募集

省力化、無人化装置のバイオニア!!  
半導体生産設備、Tr・IC・SCR等の測定装置およびXYZθ微動装置等の設計製造

**フェイム株式会社**  
清原 秀明 (48年度卒)  
工場 〒192 東京都八王子市美山町1253  
☎0426-51-7781(代)

として大原順夫氏(43年度卒)および小杉伸一氏(50年度卒)の二名が、又、事業担当幹事として新たに大矢曉氏(53年度卒)がそれぞれ任命された。

### 第二回幹事会議事録

開催日時 昭和五八年六月二十五日(土)午後五時  
会場 東海大学代々木校舎

議事一、会員名簿作成の件  
前回に引き続き、会員名簿の作成準備について、資料をもとに検討の結果、次の様にまとめられた。

- ① 名簿の体裁は資料の通りとし、学生会員および賛助会員も掲載する。
- ② 会員番号は次回の改訂版作成時に検討する。
- ③ 住所不明者の調査および仮名簿の確認は各年代の代議員に依頼する。

④ 作成資金を補充するため出来るだけ多くの広告を募集する。

議事二、会費納入の件  
会費納入状況および現有資金と活動状況が説明され、納入者が少ないため今後の活動が困難であるとして、会費の徴収方法が検討された。その結果、代議員および幹事に、各年代およびクラスの会員に対する勧誘を依頼することになった。

議事三、機友会支部結成の件  
現在会員は四千名を越え、今後ますます増加する中で、日常業務の分担、情報の確実性と迅速化および、より緻密な親睦を計るために、支部を結成してはどうかとの提案がなされ、討議の結果、了承された。それで、まず学生会員を対象とする学内支部を結成し、今後態勢が整った地区から徐々に結成して行くことになった。

## 卒業生の声

### 機械工学科の発展に思う

細井清忠  
(機械昭和三十九年度卒  
日産車体勤務)



夏に行なわれた変則的な入学式、そして夏休みを返上しての授業、こんな状況でスタートした工学部機械工学科であった。もう二十年以上も昔のことであるのにその時のことが今更のよ

うに思い出されてくる。その年の入試も全て「来年こそは」の意気に燃え、頑張って来た昭和三十六年初夏のことである。突然姉が一枚のパンフレットを持ち帰った。それが今日、立派に成長した機械工学科の第一期生を募集する入試案

いろいろな経験が出来、楽しかったように思う。運動場にしても代々木には無い為、体育の時間には高校野球で一躍有名になった附属相模高校に接したグラウンドまでいかなければならなかった。学生だけではなく先生方も大変な苦勞であったに違いない。しかし、教育にかける情熱が今の発展の基礎になっていることは信じて疑わない。

第一期の連中は異色の人物が多かったと云われる。確かにそうであったかもしれない。しかし何をやるにも初めてである。全てにとまどいを感じた。たとえば建築祭では他の学部が行なっているような派手なことは出来ず、ただ数台の旋盤といくつかの工作機械を並べ、側にプロククゲージを展示しただけのときもあつた。格好よく女の子を招待したものの肩身の狭い思いをしたものである。でもそれだけ一生懸命だったともいえる。

我々の在学中に建設を始めた湘南校舎には卒業式に行つたのが最初で最後であつた。整備中の敷地にはアイトホールといくつかの建物が点在するのみであつた。その後、約二十年ぶりに訪ねた湘南校舎をみてびっくりした。広々とした敷地、緑に囲まれた学舎、皆ながのびのびと、そして生き生きと学校生活を楽しんでいる。学科も三学科と増え、どんどんと大きくなってゆく。どこにこのような躍進の秘密があるのかと思うほどである。しかし、ちよつと残念なことは実家に帰つたような気がしなかつたことである。私にはあのこまごまとした教室や実験室があつたのかもしれない。校舎になどと思つたりもした。校舎に入ると求人用の紙がずらりとある。これも又時代の移り変わ

るの証である。私にはあのこまごまとした教室や実験室があつたのかもしれない。校舎になどと思つたりもした。校舎に入ると求人用の紙がずらりとある。これも又時代の移り変わ

### 絆

崑山(桑名)芳直  
(第二工機四十三年度卒  
高知技能開発センター勤務)



第一期生の実力が世の中に通用するが非常に心配であつた。しかしその心配は無用であつたことは云うまでもない。最近になってようやく他学部の学生も含め毎年仲間が増えるようになった。心強い限りである。第一期生に限らず初期の人達の多くは同じような思いをもっているのではないかと思う。

これから二十年。先ほどのようになつていくか判らないが、この勢いで伸び続けて欲しいものである。

「四〇二志機会」いきなりこ書いでも何のことやらわからない方が多いと思つたが、機友会の皆様の中で七十余名の方には、大切な関わりを持つて会です。

さて、話は急に変わりますが、私は毎年春になりますと、新しく中学を卒業した元氣な若者に巡り会います。彼らに私が最初に申しますことは「友達を多く作りなさい」、「自分が人間であるということをよく考えよう」ということです。

考えている。より人間らしい生き方をするためには、より多くの人と接触をし、その人となりを知るとともに、その人達とのよき「間柄」を作り出し、それを長続きさせることこそ肝要です。

私たちは、この「人」と「人」の間柄をよりよい関係にするために一生の努力の大半を費していること云々もよいでしょう。

この「人」と人の関係を一本の糸にたとえようと、それは太く真つ直ぐな糸で結ばれてこそ正常な人間関係となるのです。

しかしながら、せつかく結ばれたその糸も、時が過ぎますと、時には細くなり、曲つてしまふことだつてあるでしょう。

冒頭の四〇二志機会は、昭和四十年年度に、第二工機部機械工学科へ入学を許された者の集りであり、私に結ばれている糸のうち、やせ細り、切れか、つている糸に栄養を与え、元どおりの丈夫な糸に戻してくれます。

### いつまでもフレッシュマンで、

宮嶋洋二  
(動機五十七年度卒  
ソニー勤務)



機友会の皆さん、今日は、それからお世話になつた諸先生方また諸先輩、同期生の方々、お元氣ですか?

私は、まだ記憶も新しい昭和五八年の春に卒業したばかりの初々しいOB一年生です。現在ソニー(株)芝浦工場、なんとビデオ(ベータマックス)の生産設備の設計をしております。

今回、私ごときが、この様な欄に投稿出来、大変光栄に思つて居る次第です。

二名が御世話になりました。「小竹研」そうです。毎日、施盤、フライス盤にじり付き、知らぬまに、作業服が肌にも染み込むという恐ろしい研究室なのです。

当研究室には、私と大上君という背の高いハンサムボーイが厄介になつていました。我々はそこで、かの有名なカルノーサイクルに、匹敵する高い効率を示すスターリングエンジンを研究しました。私の研究対象のエンジンは、クランクを持たないフリーピストン型と呼ばれるもので、ガス漏れ対策が容易、長寿命、高熱効率、多種燃料とまつた夢のエンジンでした。

しかし、現在でも動いていないという代物です。私の製作した物も残念ながら卒研の締切りまでには時間が足りず(?)動かすことができませんでした。思えば、エンジンが始動する夢を何度見たことでしょうか。まつた夢のまた夢のエンジンでした。しかし一年間という短い期間で、一つのエンジンを製作出来なかつたとは言え、自分で工作機械と一体になりながら、加工のことも考えて、設計製図を行い、また実際に物をつくり出して行くというすばらしい経験が出来ました。

卒研では、この様な加工だけでなく、難しい理論式や、手間のかかる実験に追われた方々も多いことでしょう。皆それぞれ良き思い出だつたことでしょう。

しかし、過去の思い出だけに浸つて居るわけにはいきません。工学というものは、日進月歩です。数年間の勉強だけでは、カバーしきれない研究も多くあります。ここで卒研を行つた方も大勢おられると思います。石綿・岡本・斎藤の諸先輩方も覚えてますよ。

## “若い力”を求めます!!

躍進するレグセルは会社を創造しています。各部門(技術、設計、企画、業務、製造、営業、総務、経理etc)で若い責任者が育っています。



## レグセル工業株式会社

資本金 4,000万円

代表取締役 河西正彦 (昭和41年度機機卒)

### 製造品目

- 機械関係 : 産業用ロボットマシン、各種省力機械及び装置
- 金型関係 : トラスファープレス型、順送プレス型、特殊省力型
- 金属関係 : 放電加工用タンクステン系合金、強電用電気接点

本部

〒228 神奈川県相模原市東林間6-20-15 ☎0427(45)6485(代) FAX 0427(42)5120

相模原営業所

〒330 埼玉県大宮市宮原4-1-9 ☎0486(67)4045(代) FAX 0486(67)0864

埼玉営業所

〒252 神奈川県綾瀬市上土棚701 ☎0467(77)0371(代) FAX 0467(76)7854

藤沢工場

(当社は東海大学卒業生で設立された会社です)

# 就職の動向

就職という、一般的には、名の知られている有名会社、特に上場会社に、何名の採用が決まっているかによって評価される傾向にある。しかし近年では新素材の開発普及および生産コストの安い後進国からの輸入増加等による基幹産業の筆頭「製鉄業界」の落ち込みや、第一次オイルショック以来低迷を続ける重工業等がある一方で、日の出の勢いのコンピュータ業界、応用範囲拡大が目覚ましい発展を遂げているニューセラミックス業界、その他バイオメカニクス、メカトロニクスの業界等の台頭が目覚ましい現状ではこれらの分野に関連した有力中小企業にも、目を向ける必要があると考えられる。

卒業生全員が、将来の道が拓かれた生き甲斐のある職に就くことができ、目を輝かせて活躍してくれることが、我々就職相談を担当する者の第一の願いであります。とは言え、それら新興企業の将来性と安定性を見極めることは非常に難しく、我々の苦慮しているところでは、どうの事情により、就職状況をどう整理するか、躊躇するところですが、慣例に従って図に表わしました。

図1は昭和五二年度生からの上場企業への就職者数の推移を表わしております。オイルシ

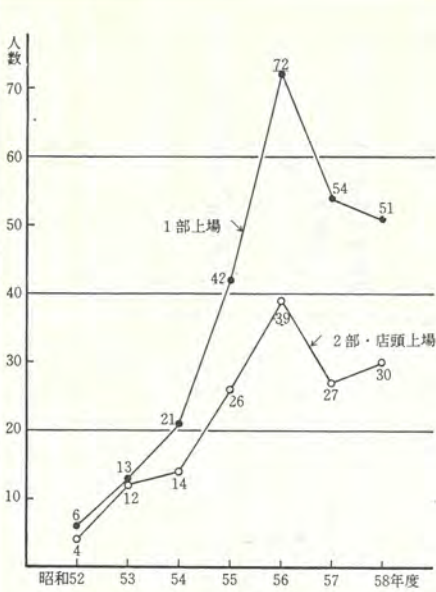


図1 上場企業就職者数の推移

## 主な就職先

三菱重工、石川島播磨重工業、日産自動車、日産車体、東洋ラジエター、日本オイルシール、白木金属工業、市光工業、日本ラヂエーター、東洋工業、本田技研、富士重工、日野車体工業、



図2 過去3年の就職状況内訳

自動車部品工業、富士精工所、河西工業、自動車電機工業、富士精工、厚木自動車部品工業、芝浦電気、東京電気、松下電器産業、安立電気、ソニー、アイワ、アルプス電気、横河北辰電機、スタンレー電気、ナカヨ通信機、天昇電気工業、安藤電気、日興電機工業、デンヨー、園池製作所、椿本チエーン、アマノ、NTN東洋ベアリング、ミネベア、日本気化器製作所、岡本工作機械製作所、三興製作所、東洋製作所、キヤノン、リコー、東京光学機械、ニフコ、東建建設、大豊建設、岡崎工業、東急建設、日本国土開発、五洋建設、東京電気工務所、太平電業、朝日工業社、厚木ナイロン工業、鬼怒川ゴム工業、椿本興業、日本ユニバックス、山九、宇徳運輸、櫻葉、三ツ葉電機製作所、三菱自動車工業、日本自動車連盟、西武化学工業、新東日産自動車販売、東京シート、車体工業、第二精工舎、東京トヨペット、東京三菱ふそう自動車販売、東芝

## 就職懇談会 開催される

第二回幹事会で決定された就職相談窓口の設置に関連する活動の一つとして、現在四年生の学生を対象に、昭和五八年六月十八日(土)東海大学湘南校舎の松前会館に於いて開催された。OB十数名と学生約三十名が集まり、テーブルを囲んで和やかな懇談会であった。

まず、小林会長より機友会の内容および就職懇談会開催の主旨説明があり、次いで来賓としてご臨席頂いた動力機械工学科教授の金田先生よりご挨拶があった。そして、いよいよ各OBの話が順に始められた。OBの中には会社社長、大企業の上役、中堅および新入社員と、各層各界の方に出席して頂いた。自ら勤務する会社の内容、その会社を選んだ動機、就職試験と入社後の心構え、および今後の展望など滅多に聴けない貴重な体験談を次々に話された。いずれも本当に後輩の身になっての熱心な体験談であった。教室では騒がしい学生達も、就職戦線目前にしては真剣なまなざしであった。話がはずみ、一時間の予定が約二時間半に延長された。

懇談会終了後、同会館のホールに於いてパーティが開かれ、今度は個人的な質疑応答が行われた。そして宴たけなわのうち、午後五時頃閉会した。

この様な懇談会は今後も行われる予定である。尚、就職相談窓口は学生だけでなく、全会員を対象とされているもので、いつでも相談に応じられる様になっている。

# 会費納入状況および会計報告 (S59.1.31現在)

機友会々費納入状況表 (S58.6~S59.1)

合計	卒業年度											39年度 学生	会費納入者数								
	56	55	54	53	52	51	50	49	48	47	46		45	44	43	42	41	40	一年	五年	十年
40	7	2	0	2	4	0	1	1	2	2	5	2	2	3	2	0	3	3	5	3	11
51	7	3	2	3	5	7	0	0	3	2	1	2	2	3	5	1	5	5	5	3	11
75	10	4	4	5	3	6	2	1	6	4	3	4	6	8	2	1	3	3	3	3	11
166	24	9	6	10	12	13	3	2	11	8	5	9	8	10	14	9	2	11	11	11	11

## 会計報告表 (S57.8.17~S59.1.31)

収入		支出	
繰越金	1,400,791	事務局経費	85,960
57年度卒会費納入金(145名分)	462,000	会報発行事業経費	54,400
既卒者会費納入金(177名分)	1,132,060	会報その他印刷諸経費	436,600
会報掲載広告料(8社分)	100,000	会報郵送作業及び郵送経費	363,280
預金利息	18,114	OB就職懇談会経費	47,010
		代議員会・幹事会経費	148,654
		卒業生歓誘事業経費	20,520
		繰越金	1,956,541
合計	3,112,965	合計	3,112,965

昭和59年2月4日 監査 佐々木 彰 鈴木良幸  
上記監査の結果、相違の無い事を認める。

## 編集後記

昨年六月、会報の創刊号と共に郵便局の振込用紙を同封して新に会費納入の呼びかけを行いました。五八年六月から五九年一月の期間に一六六名の会員の方々から総額で約一〇万円の入金がありました。内訳は別表の通りで全額を今年一月末の決算に繰り入れた(会計報告表参照)。以上、ここにこの報告いたします。ご協力ありがとうございました。なお、会費納入者の氏名は、従来の分も含めて全員について別の機会に会報に掲載する予定です。

第二号を第二回総会の通知と共にお届けします。今回はニュースや報告記事以外では、新たに「学内通信」や「卒業生の声」を掲載しました。「研究室紹介」「職場訪問」等と共に不定期な連載記事にする予定です。また「就職の動向」については興味を持って読んで頂けるものと思ひ、かなりのスペースをさいて過去数年分をまとめてみました。

まだ出発したばかりで、会報のスタイルを作りあげるのに、手さぐりの状態ですが、編集スタッフ一同、ない知恵を出し合っただけでなく、お力添えを御協力のおかげでお願い致します。



Y・O・M・E

各種試験機器模型製作  
精密機械器具設計製作  
光学機械設計製作

## 今井工業株式会社

〒176 東京都練馬区氷川台3-36-20  
電話 03(931)8403

技術開発  
お手伝いいたします。

## (株)西脇研究所

〒173 東京都板橋区加賀1-8-1 野口研究所内  
☎03-962-6970, 8427

排水処理設備設計施工

## 望星機工株式会社

産業排水処理設備 本社 東京都中央区日本橋本町4-8  
合併処理設備 ヨネズビル3F  
上記機器代理店業務 ☎03(662)9448(代)  
代表取締役 長谷川 勝(40年度卒)